



決算審査特別委員会報告 令和5年度 決算をチェック!



令和6年9月定例会において提出された、令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに水道、病院、公共下水道事業会計決算の認定に係る議案4件について、監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、分科会ごとに9月30日に現地調査を、10月1日・2日に書面審査を実施しました。

また、11月18日には決算審査特別委員会を開催し、各分科会における審査内容の報告を行い、令和6年12月定例会初日（12月10日）に、委員長から審査の概要と結果の報告が行われ、いずれも認定しました。このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

LOVE SAIJOポイント推進 業務委託料について

総務費

Q ポイント取扱店舗が減少した理由は？

A 取扱店舗に消費額の1パーセント分を地域応援協力金として負担いただき利用者に還元することとしたが、これに御理解いただけなかった店舗があり120店舗減少した。一方、SDGs推進協議会のポータルサイトを広報として活用できるメリットを伝えることなどにより、新規取扱店舗が50店舗増加し、結果として70店舗の減少となった。

ねんりんピック西条市実行委員会 負担金について

民生費

Q ねんりんピック開催の効果は？

A ふれあいスポーツ交流大会として、本市ではサッカーと太極拳を開催し、両競技で529人の選手、監督をはじめ多くのかたにお越しいただいた。最大3泊4日の日程で本市を訪れ、合計で約1,000泊以上の宿泊があり、一人1日当たりの消費額を過去の国体の例に倣うと、約2,200万円以上の経済効果があったと推計される。

新規就農者確保事業費補助金 について

農林水産業費

Q 予算の執行率が半分以下となった理由は？

A 経営開始資金として令和4年度以前からの継続受給者9名分と令和5年度の新規就農候補者11名分を、経営発展支援事業として就農時に農業機械などの導入を希望する8名分を予算措置していた。しかし、補助金受給に向けた調整の中で、親元や農業法人でもう少し経験を積むことを希望されたかた、離農による補助金返還リスクを考慮して機械購入を控えたかたがいたことなどが、不用額が生じた原因であると考えている。

救急安心センター事業費負担金 について

消防費

Q 事業の成果は？

A 本事業での相談件数は、愛媛県内で1万3,376件に対し、本市は1,015件であった。そのうち、相談の結果、直ちに119番通報すべき、若しくは、今すぐ受診すべきとの助言に至ったのは336件、約33パーセントであり、潜在している重症者、緊急度の高い疾患を早期に医療につなげる効果が見られ、本事業を通して、市民に対し安心感を提供することができたと考えている。

地域包括支援センター運営委託事業 について

介護保険
特別会計

Q 市内5か所に設置している同センターの現状及び地域や公民館との連携はどのようになっているのか？

A 地域包括ケアシステムの実現のため、公民館が高齢者の困り事のつなぎ役として機能できるように同センターとの連携の構築、充実を図っているところである。また、公民館が持つ人脈、ネットワークを生かし、同センターの活動を周知するとともに、生活支援コーディネーターと公民館の職員が交流することで、関係性を高め、引き続き地域包括ケアシステムを推進する体制整備に取り組んでいきたい。

西条市立周桑病院について

病院事業会計

Q 病床利用率が前年度よりも下がった理由及び経営状況が悪化した理由は？

A 外来患者の減少や、多くの入院患者を診察していた内科医が1名退職したことが要因であると考えている。経営状況の改善には医師の確保が重要であり愛媛大学にも働きかけを行いながら、まずは医師を1名確保していきたい。更に、指定管理者である医療法人専心会でも、入院患者や人間ドック利用者の増加に向け努力していただいている。また、訪問介護ステーションを立ち上げ、訪問看護を始めるなど経営状況の改善に尽力していただいている。